

# 福島県産林業

No. **595**

題字 福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

**3**

2014

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■子供の成長に笑顔



## 林業研究グループ等活動発表会 県知事賞を受賞して 「森林環境学習を通して南会津地域の 安全安心を発信(都市交流と人材育成)」

館岩地区林業振興協議会 鈴木 秀明

このたびの林業研究グループ等活動発表会におきまして、県知事賞を賜りありがとうございました。これを弾みに協議会の活動を地道に実施していきたいと思っております。

当協議会は、平成五年二月に森林資源の利活用や林業・木材産業の発展に寄与することを目的に地域の林業関係者により設立されました。当初カラマツの利用調査を活動の中心として実施しました。

平成十六年からは、会津高原たかつね教育旅行誘致協議会の設立に参画し、環境教育と連動して、森林整備等をメニュー化し、関東圏の小中学校を受け入れ、地域経済にも大きく貢献いたしました。しかし、平成二十三年三月の東日本大震災で状況は一変、その被害は農林産物の出荷自粛にとどまらず、関東圏からの林間学校や教育旅行がキャンセルとなる等、深刻な事態が続いています。震災直後、南会津町館岩地区には南相馬市から最大三〇〇名を超す被災者の方々が避難されました。私達にも何か協力できないか考えた結果、避難者の方々の要望もあり、がんばっぺ南会津景観PR事業として、フォレスト助成金や南会津町からの助成を受け、環境美化活動や花壇の整備「絆の森」づくりを行いました。避難者の方々と共通の目的を持って地域の景観づくりができたことは一番の思い出です。

森林・林業をキーワードに復興への足がかりをつかんだところで、次は風評被害の払拭です。震災前から林間学校や教育旅行に來ていただいた学校に、線量調査により安全安心だと納得してもらい南会津で体験活動を行うことにより、森の大切さを伝えることができ、手応えを感じるものとなりました。体験活動を更に広げるため、千葉県の中学校の文化祭に向き「出前講座」も行いました。その他、以前から林業体験などの活動と一緒に行った埼玉県の中学校に、館岩のシンボルでもある白樺を植栽する活動なども行っており、今後一層交流を深める予定です。当協議会が大切にしてきたことは地域との関わりです。地域住民の方々にも参加してもらおうと、地域でも林業への関心を高めるといふ狙いもあります。

平成二五年には全国林業研究グループ連絡協議会の助成事業で、小学生及び二〇〇代地域の地域住民を対象として森林整備等の活動を行いました。

私たちは、これらの活動を継続することにより、次世代の林業を担う人材になってほしいと考えています。このように地域交流、風評被害払拭のためのPR活動、後継者育成と活動の幅を広げてきました。今後も、林業体験、出前講座、地元幼稚園での森林文化の伝承、後継者育成のための活動を続けていきます。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

### 《も く じ》

とびら	普及指導員通信……………	7
林業研究グループ等活動発表会	森連だより……………	8
県知事賞を受賞して	きのこセンターだより……………	9
館岩地区林業振興協議会 鈴木 秀明…	林研コーナー……………	10
平成25年度林業研究グループ等活動発表会開催…	林協ニュース……………	11
平成25年度林業普及指導員全体研修会を	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
開催しました……………	はなしのひろば……………	13
海岸防災林再生等復興支援事業意向調査の実施…		
林業研究センターだより……………		5~6

# 平成二五年度 林業研究グループ等活動発表会開催

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

平成二五年度林業研究グループ等活動発表会が、二月五日郡山市の県林業研究センター研修本館で開催され、県内各地の林業研究グループをはじめ、林業関係者約八〇名が参加しました。

この発表会は、県内各地で自主的に実践活動を行っているグループ等の活動を、各普及区ごとに発表し、今後の活動の更なる向上を図ることを目的に毎年開催されています。

県農林水産部 水戸典明次長があいさつを述べた後、各地区の六グループ代表者が、日頃の活動や東日本大震災が及ぼした影響、その後のグループの活動、取り組み等発表されました。

午後には、(有)高見林業代表取締役



発表の様子

役、全国林業研究グループ連絡協議会常任理事 齋藤正氏により「林業の六次産業化への挑戦」と題した講演がありました。

その後、県林業振興課長から各グループ活動の発表の講評、審査結果の発表後、表彰式が行われました。審査結果は次のとおりです。

## 県知事賞 (最優秀賞)

● 館岩地区林業振興協議会

『森林環境学習を通して

南会津地域の安全・安心を発信

く都市交流と人材育成への取り組み

・南会津町館岩地区から出来ること』

鈴木 秀明氏

● 森林・林業・緑化協会長賞

● 田人林業研究会

『森林づくりと人づくり』

緑川 周一氏

● 林研グループ連絡協議会長賞

● ふくしま家づくりネットワーク

『地域と歩む家づくり』

川崎 直竹氏、菊地 進氏

● 里の森みらい

『荒廃した里山よ 蘇れ!』

薄井 充良氏

● NPO法人南湖森林公園案内人の会

『南湖森林公園における

森林環境学習の取組みについて』

溝井 力男氏

● NPO法人福島県もりの案内人の会

『地域と歩む森づくり』

会津支部

『地域と歩む森づくり』

会津支部活動状況について』

荒井 勇氏

平成26年度

## 一般財団法人福島県林業会館 フォレスト助成金(協賛)事業の募集要項

1. 趣 旨 一般財団法人福島県林業会館 (以下林業会館という) は公益事業としてフォレスト助成金(協賛) 事業を募集する。
2. 総 額 4,900千円
3. 募集事業の内容
  - (1) 対象事業
    - イ. 森林の整備
    - ロ. 木材の利活用
    - ハ. 特用林産の振興
    - ニ. 森林・林業教育学習
    - ホ. 森林とのふれあい推進
    - ヘ. 森林・林業に関するその他必要と認める事業
  - (2) 事業費
 

一事業あたりの助成金(協賛)額は、原則として20万円以内とする。
4. 助成(協賛)対象者
  - (1) 県内の林業に携わる県内所在の団体。
  - (2) 交付条件を遵守することが確実であること。
  - (3) 交付金によって目的事業を実施することが確実であること。
5. 申請方法
  - (1) 申請手続 事業の目的、内容、交付申請額を福島県林業会館事務局まで提出する。詳細は事務局まで電話下さい。
  - (2) 事業の実施期間 平成26年4月1日から1年以内。
  - (3) 受付期間 平成26年4月1日から5月末日まで。
6. 事業の採択決定 林業会館が設置する「フォレスト助成金審査委員会」で選定いたします。
7. 応募先 〒960-8043 福島市中町5番18号 一般財団法人福島県林業会館事務局あて  
TEL・FAX 024-522-2407



# 平成二五年度 林業普及指導員全体研修会を開催しました

福島県林業振興課

平成二五年度林業普及指導員全体研修会が、二月六日（木）、県林業研究センター研修本館で開催され、林業普及指導員をはじめ林業関係者等約七〇名が参加しました。

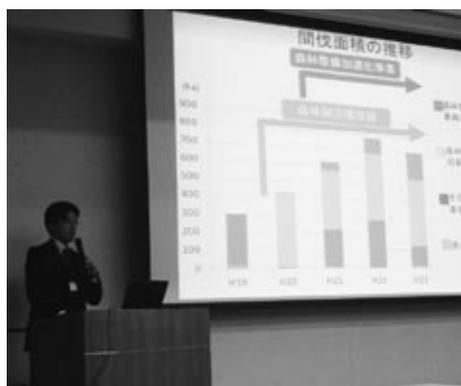
この研修会は、県内の各普及指導地区の代表者七名が、日頃の普及活動の取り組み状況について発表するもので、今年も、森林整備により放射性物質を低減する取り組み、森林の野生鳥獣被害を防止する取り組み、安全なきのこを出荷・流通するための取り組みなどの日頃の普及活動が報告され、それぞれの発表に対する活発な質疑が交わされました。

午後からは、他県の優れた普及指



普及活動発表  
(南会津農林事務所 佐川大三氏)

導活動事例を知り、今後の本県の普及指導活動に生かしてもらおうと、平成二五年度林業普及指導員シンポジウムの関東・山梨ブロックと、東北・北海道ブロックにおいて最優秀賞を受賞された茨城県県北農林事務所大子林業指導所の清水静也氏と宮城県登米地域事務所の佐々木周一氏にお越しいただいて、それぞれ「久慈郡大子町における施業の集約化の取り組みについて」、「林業普及指導事業における准フォレスト活動の取組」の御講演を頂きました。



講演（1）  
茨城県県北農林事務所大子林業指導所 清水静也氏

その後、県林業振興課長から普及活動報告の講評があり、その中で、林業普及指導員として、地域の客体や課題に、どのように向き合い、どのように寄り添っていくのか、改めて問いかけられ、一同、気を引き締めたとところです。



講演（2）  
宮城県登米地域事務所 佐々木周一氏

審査の結果、最優秀賞には佐川大三さん（南会津農林事務所）、優秀賞には高橋伸二さん（県南農林事務所）が選ばれました。最優秀賞受賞者の佐川さんは、宮城県で開催される平成二六年度林業普及指導員東北・北海道ブロックシンポジウムに福島県代表として参加される予定です。



県普及指導職員連絡協議会会長から表彰

「安全なきのこ生産に向けた取り組み」  
県北農林事務所 阿部由紀子

「ふくしまの森林再生を目指して」  
県中農林事務所 吉成 吉美

○「県南地方における林業再生の取り組み」  
県南農林事務所 高橋 伸二

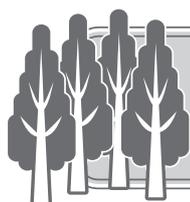
各事務所からの普及活動発表内容は次のとおりです。

「野生鳥獣被害（クマハギ）の緩和について」  
会津農林事務所 武藤 司

◎「地域に根ざした森林経営計画の作成と森林整備の実施について」  
准フォレスト活動としての取り組み」  
南会津農林事務所 佐川 大三

「森林整備の推進による森林再生」  
相双農林事務所 阿部 正久

「きのこ・山菜の再生について」  
いわき農林事務所 山河 周



# 海岸防災林再生等復興支援事業

意向調査の実施

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

東日本大震災により甚大な被害を受けた海岸林をはじめとしたふくしまの森の再生・復興に向けて、海岸林再生支援への意向や参加意識等について調査するとともに、今後の施策の方向性を検討するため、アンケートによる意向調査を下記のとおり実施しました。アンケートは、企業による支援活動の考え方や、森林ボランティア団体等からどのような支援要請があるかといったことがわかるように、それぞれの内容にあわせて設問を作成しました。

## 対 象

企業、森林ボランティア団体 等

## 実施期間

平成25年12月13日（送付開始）  
～平成26年1月10日（締切）

## 回 答 率

企 業	170 / 533	32%
森林ボランティア団体等	25 / 67	37%
合 計	195 / 600	33%

## 企業の回答では…（設問全7問）

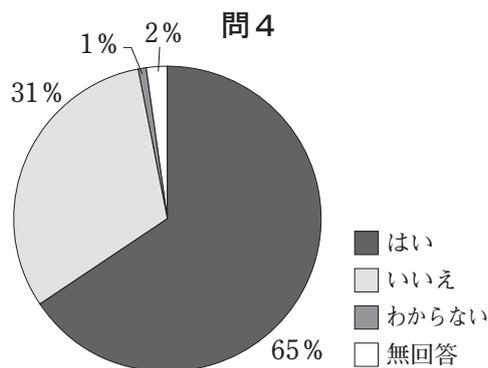
今後、支援をしたいと考えていると答えた企業が、111社と7割近い回答があり、労務提供や資金提供、イベント等への交流参画といった形で支援したいとの意向が多く寄せられました。また、当協会が持続的な森林づくり活動を支援するための基金を創設した場合、基金への出資は可能かとの問いでは、支援したいと答えた企業とほぼ同数で116社と約7割の企業が検討する・可能であるとの回答がありました。

（企業向アンケート一部抜粋：問4）

問4 今後、福島県において海岸林をはじめとした森林づくり活動への支援を行いたいと考えていますか。

〔はい・いいえ〕 どちらかに○を付けてください。

はい	111	65%	170
いいえ	53	31%	
わからない	2	1%	
無回答	4	2%	



## 森林ボランティア団体等の回答では…（設問全6問）

現在、ボランティア活動をする中で、数多くの団体から労務費、資材費、交通費等の資金面での支援が必要であるとの意向が寄せられました。加えて、森林づくりには長い期間を要するものなので、単発的な支援だけではなく継続的支援が必要だという意見もございました。

## 最後に…

今回の意向調査の結果を参考に、支援内容の充実に努めてまいりたいと考えております。次のステップとして、積極的に支援の意向を示している企業や森林ボランティア団体等が求めている具体的な支援内容について調査するとともに、海岸林再生に欠くことができない地域住民等についても意向の確認をしていきたいと思います。ご協力いただいた企業ならびに森林ボランティア団体等の皆様に厚く御礼申し上げます。

**(公社)福島県森林・林業・緑化協会** 海岸防災林再生等復興支援担当

〒960-8043 福島市中町5-18（林業会館内） TEL 024-563-3585  
FAX 024-521-3246

林業研究センターだより

葉を食べる虫が大量発生



県林業研究センター森林環境部  
主任研究員 蛭田利秀

○いろいろな「虫」が  
あちこちで大量発生

県内の落葉広葉樹は、非常に大雑把にみると低山地域であればコナラ、高山地域であればブナやイヌブナ、その間にミズナラが生育しているといっても良いのではないかと思えます。これらの樹種は人にも利用されていますが、さまざまな「虫」にも利用されています。コナラ林に入ると、ガなのか、ハムシなのか葉が何かに食べられ、ハチか、ハエの仲間なのか葉や芽は、さまざまな虫こぶで肥大し、カミキリムシやガの仲間が幹に穴を開け、チョッキリの仲間がドングリを枝ごと落としていきます。落葉広葉樹林が許容できる範囲内であれば何の問題もなく木々は生育しています。一方、「虫」が大量に発生すると深刻な被害をもたらすことがあります。その代表が、コ

ナラやミズナラを枯死させることがある「カシノナガキクイムシ」と「カツラマルカイガラムシ」です。この二種の被害が最も深刻であるのは、局所的に被害が沈静化しても、周辺に被害が拡大することです。最近、「カシノナガキクイムシ」と「カツラマルカイガラムシ」の被害が沈静化しないまま、「葉を食べ

る虫」が大量に発生しました。「葉を食べる虫」の被害は、拡大するか沈静化するのか、県林業研究センター職員、農林水産部森林保全課、各農林事務所森林保護担当者で調査を行いました。その調査事例を紹介します。

○二種類の「ガ」

大量に発生した「葉を食べる虫」は、「ガ」の幼虫です。一種は「サラサリンガ」(写真1)、もう一種は「ブナアオシヤチホコ」(写真2)です。この二種の「ガ」は、しばしば大量発生することで知られています(写真3、4、5、6)。しかし、「サラサリンガ」はコナラやクヌギなど、「ブナアオシヤチホコ」はブナやイヌブナと加害樹種が異なることから被害地域が異なります。文献から、二種の「ガ」の違い

をまとめたのが表1です。

「サラサリンガ」は、過去には「サラサトリ」として記録されており、主に緑化木の害虫として知られています。しかし、「サラサリンガ」被害の規模、周期性、継続年数については、文献から情報を得ることはできません。また、県内の森林における被害の記録は、一九五五年と古く、森林害虫としては情報の少ない「虫」でした。

「ブナアオシヤチホコ」については、過去によく調べられており、定期的に大量発生を繰り返すこと、被害は数年で沈静化することがわかっています。県内の過去の被害発生は、二〇〇二年に記録されており、一一年ぶりの大量発生となりました。

写真-1  
サラサリンガの  
幼虫

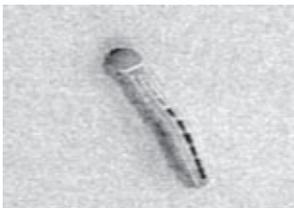


写真-2  
ブナアオシヤチ  
ホコの幼虫

写真-3  
サラサリンガの被害林  
(2012.6.10 田村市)

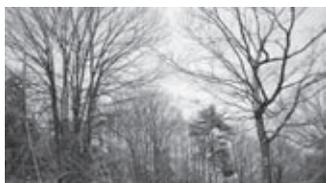


写真-4  
サラサリンガの被害林  
(2012.5.30 田村市)

写真-5  
ブナアオシヤチホコの被害林  
(2013.8.21 磐梯町、  
北塩原村の町村境付近)



写真-6  
ブナアオシヤチホコの被害林  
(2013.8.27 喜多方市)

表-1 サラサリンガとブナアオシヤチホコの被害状況

	サラサリンガ	ブナアオシヤチホコ
加害樹種	コナラ、クヌギ、アラカシ、シラカシ、(ミズナラ)	ブナ、イヌブナ
加害時期	4月下旬(開葉期)～5月下旬	7月中旬～8月下旬
大量発生周期	不明	8年～11年
被害継続年数	不明	通常2～3年
過去の県内の被害歴	1955年(S30)郡山市田村町	2002年(H14)猪苗代町

加害樹種(ミズナラ)は、今回の調査で加害を確認

図-1 サラサリンガとブナアオシヤチホコの被害分布図(約1km×約1kmのメッシュ)

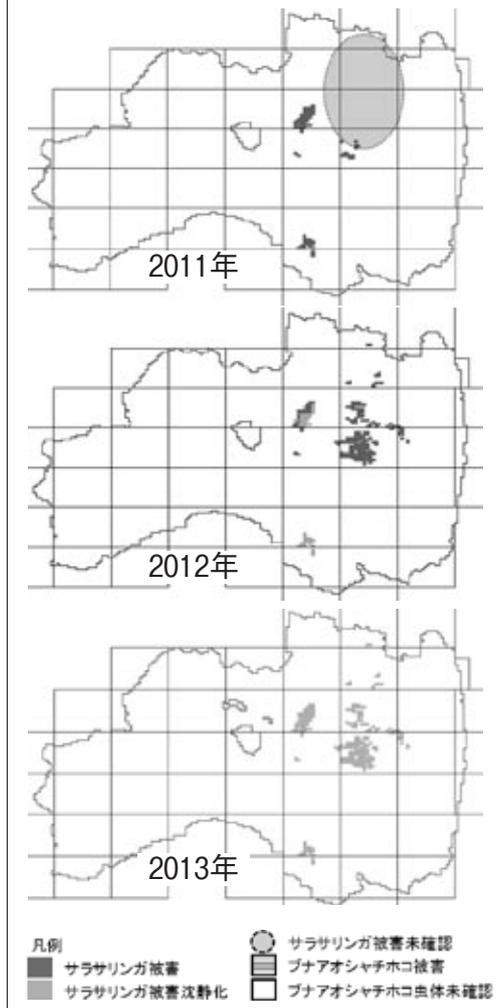


表-2 サラサリンガ被害確認市町村

年	市町村数	市町村名
2011	7 (9)	二本松市(西部)、大玉村、郡山市、田村市、三春町、白河市、棚倉町 (被害未確認市村(地域): 伊達市、二本松市(東部)、葛尾村)
2012	12	福島市、伊達市、二本松市、本宮市、大玉村、郡山市、須賀川市、三春町、田村市、浪江町、飯館村、葛尾村

表-3 ブナアオシヤチホコ被害確認市町村

年	市町村数	市町村名
2013	3 (4)	磐梯町、北塩原村、喜多方市 (被害未確認市村: 猪苗代町)

## ○「サラサリンガ」と「ブナアオシヤチホコ」の被害地域

二〇一一年に「サラサリンガ」の被害が確認されました。「サラサリンガ」の被害は、四月下旬～五月下旬に、被害を受けた樹木も七月上旬には再度開葉し、被害地がわからなくなってしまうのですが、二〇一二年は、被害情報を得てから再度の開葉までの調査期間が短かったため、中通り地方北部は被害未確認となっていました(図-1)。その結果、林業研究センターで確認できた被害確認市町村数は、七市町村でした。その後、他の地域からも情報が寄せられ、最終的に被害確認市町村数は、九市

町村となりました(表-2)。

二〇一二年には、一二市町村において被害が確認され、県内全体の被害地域がわかりました。なお、二〇一一年に被害があった棚倉町では、二〇一二年の被害は確認されませんでした。

二〇一三年も同様に調査を行いました。被害は全く確認されませんでした。また、「サラサリンガ」については、福島市で死亡している幼虫二匹を発見したのみで、生きている幼虫は、確認できませんでした。「サラサリンガ」の被害は、中通り地方、浜通り地方の一部の地域に及び非常に広範囲にわたりましたが、今回は二年間程度で被害が沈静化しました。

「ブナアオシヤチホコ」の被害が

確認されたのは、「サラサリンガ」の被害が沈静化した二〇一三年でした。報道でも大きく取り上げられたので記憶に新しいかもしれませんが(福島民友新聞、二〇一三・八・二一)。被害は、磐梯山西側中腹に猫魔ヶ岳、雄国沼まで、広範囲にわたっていました。また、二〇一二年の被害地付近(猪苗代町)でも、遠方から食害被害を確認しましたが、被害林分まで辿り着くことができなかったため、「ブナアオシヤチホコ」の幼虫を確認できず被害未確認地域となっていました(表-3)。「ブナアオシヤチホコ」の被害は、本年度から被害発生となります。過去に報告された文献どおりに二～三年程度で沈静化するか調査を続けます。

## ○おわりに

一般に落葉広葉樹は、食葉性昆虫の被害のみで枯死することは、ほとんどないと考えられています。しかし、今回の「サラサリンガ」が大量発生した地域は、「カツラマルカイガラムシ」の被害地域と重なっており、枯死被害も発生しました。今後、複数の「虫」の被害地域が増える可能性があります。被害記録のない「虫」の被害も発生するかもしれません。「虫」による森林被害は、「カシノナガキクイムシ」や「カツラマルカイガラムシ」のように、今までと異なる経過を呈する可能性が考えられます。今後も継続して調査を行っていきたくと考えています。

# 「安心・安全」な きのこ生産にむけて

■会津農林事務所  
林業普及指導員 大竹 政行

原発事故発生後、当管内でも放射性物質の影響はきのこ類へ大きな影響を及ぼしています。特に栽培きのこ生産者にとって安心・安全なきのこを継続的に提供するために放射性物質に関する理解と対策が必要となっています。これらのことについて取り組んできた内容について紹介します。

## ① ほだ木や菌床の保有状況調査（ロット管理）について

生産者の理解・協力を得て行うため、市町村と連携して現地調査を行いました。現地調査の際、東京電力への怒りや不満・苦情等、併せて行政への要望も聞かれました。（25年度89件実施）



ほだ木や菌床の保有状況調査

## ② 生産資材の放射性セシウム濃度測定と出荷前モニタリング検査について

きのこ生産資材については、きのこ発生一ヶ月程前、きのこ発生初期段階でのモニタリング検査を受けるよう指導してきたことが、生産者に浸透してきました。（25年度 資材250件、きのこ210件実施）



GAP講演会

## ③ 安全なきのこの生産をめざすGAP（農業生産工程管理）について

西会津町の農事組合法人「会津きのこ工房」が今年度からGAP（農業生産工程管理）の取り組みを始めており、福島県安心きのこ栽培マニュアルによる栽培工程管理におけるチェックポイントの確認などこの取り組みを支援しています。

## ④ 座談会について

喜多方市各支所や北塩原村において、きのこ生産者等を対象として放射性物質による森林やほだ木等の汚染状況と、きのこ栽培における放射性物質の影響を低減する栽培方法、併せて原木林再生に向けての取り組みについて情報提供や意見交換を行いました。



座談会

原発事故から3年目を経て、ほだ木や菌床のロット管理や出荷前のモニタリング検査体制の整備等により、基準値を超える栽培きのこが出荷されることはなくなりました。今後も生産者の理解・協力を得ながら、安全・安心なきのこ生産に向けての取り組みを続けていかなければならないと考えています。

団体のページ



森林国営保険加入の  
おすすめ



異常気象により、自然災害は増加傾向にあります。森林国営保険とは、そんな森林が災害にあった時のための保険です。「火災」「風害」「水害」「雪害」「干害」「凍害」「潮害」「噴火害」の八つの災害を受けた時に、保険金が支払われます。

森林所有者にかかわらず、ご自宅でも申し込みができます。また、どんな森林でも加入できますが、全く人手の入らない天然林や竹林は加入できません。申し込みの際は最寄りの森林組合で受付けていますので、「森林の所在地」「樹種」「林齢」「面積」をご確認の上ご相談ください。

保険期間は、一年単位で希望する期間を選択できます。

保険金額（契約金額）は、政府が定めた標準金額を契約最高限度額と

し、その範囲内で定めることができます。毎年の保険金額は森林の生長に合わせて金額を増やしていくスライド制と一定額にする据置き制とがあります。

また、保険料は一時払いもしくは毎年の分割払いが選択できます。

※別表参照

保険金は、契約された保険金額の範囲内で損害に応じて支払われます。ただし、次の場合は支払われません。

- 1 損害が被保険者または保険契約者の故意または重大な過失が生じたとき

- 2 損害発生のお知らせを怠ったとき。損害発生日から三年を超えると時効にかかります。（平成

- 一二年三月三十一日以前の契約は二年です。
  - 3 損害が戦争その他の変乱または地震によつて生じたとき。
  - 4 お支払すべき保険金額が一契約内訳当たり四、〇〇〇円未満のとき。
- また、次の場合は支払対象になりません。

- 1 倒木起こし等復旧可能な損害。

- 2 補植等の必要もなく、成木に支障のない程度の軽微な損害。
- 3 立木の枯損の主たる原因が、適地適木の誤りや苗木、植付けの不良等明らかに造林技術上の欠陥によるものまたは病虫・獣害等によるものと認められる損害。

多くの手間と費用をかけて大切に育ててきた、あなたの森林資産を守るためにぜひ、この機会に森林国営保険にご加入ください。

面積1.00haで、保険期間2年で試算した場合。

樹種	加入林齢	掛け率	保険金額	保険料
スギ	10年	100%	2,720,000	21,760
		30%	816,000	6,528
	20年	100%	2,750,000	20,900
		30%	825,000	6,270
	30年	100%	2,790,000	19,974
		30%	837,000	5,992
ヒノキ	10年	100%	2,720,000	21,760
		30%	816,000	6,528
	20年	100%	2,820,000	21,498
		30%	846,000	6,449
	30年	100%	2,990,000	21,856
		30%	897,000	6,557

☆ご加入していただく保険金額及び保険料は、樹種・林齢・契約面積・契約期間等により異なります。

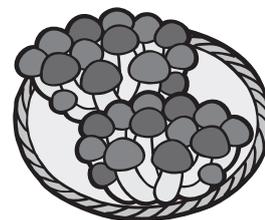
きのこセンター  
だより

# 平成25年度 福島県きのこセミナー の報告

(公社)福島県森林・林業・緑化協会  
きのこ振興センター  
業務課 鈴木敏彦

「平成二五年度福島県きのこセミナー」が福島県きのこ振興協議会主催で、福島県農業総合センターにおいて去る一月二四日に開催されました。今年度は、原発事故後、三年目のきのこセミナーとなります。福島県きのこ産品の完全復活を目標として今回は、きのこを作る工夫、きのこ農家を経営する工夫から「工夫からの躍進」をテーマに開催しました。きのこ生産環境の向上と徐々に高まる生産意欲を反映してか、昨年度を上回る約一〇〇名の栽培者及び関係者の出席者となりました。

セミナーは、福島県きのこ振興協議会会長、熊谷建一氏の主催者挨拶で始まり、来賓祝辞を県林業振興課の渡部主幹兼副課長よりいただきました。講演内容は、県林業研究センターの武井利之研究員より「ナメコ栽培における放射性セシウム移行抑制剤の効果」の演題で、安心したキノコ栽培法の確立と安全なキノコ供給を目的にゼオライトを利用したナメコ栽培基材に含まれるセシウムの吸着メカニズムときのこへの効果等について講演をいただきました。次に(有)中山食茸の前田博営業部長より「変化する「きのこ業界」へのチャレンジ」と題し、マーケティング戦略を重視した経営への転換で、単品目を栽培して売る従来の方法から多品目でもニーズに合わせて売れる品目を栽培、販売する方法への転換成功例の紹介をご講演いただきました。三講演目は、きのこ関連書籍出版社の(株)プランツワールドの大橋等代表より「日本のきのこ情勢と今後の展望」と題し、専門家からの立場から変動する日本のきのこ情勢と今後につ



きのこ振興センター



セミナーの様子



講演の様子

て、原発事故の現在の影響も含め各品目別に現状、問題点、今後展望などについてご講演をいただきました。最後に、県林業振興課、白田康之主任主査より県の「出荷制限解除の考え方と福島県安心きのこ栽培マニュアルの活用」について説明があり、制限解除の考え方については、経緯、解除に向けた取り組みについての詳細、安心きのこマニュアルについては、経緯、きのこチェックシートの活用方法などについてご講演いただきました。

今回は、安全なきのこを作るのに最も重要な放射能対策やきのこ産品の復興の要となる経営の成功事例から、日本のきのこ情勢まで講師の方々のご協力と有意義なセミナーとなりました。きのこ振興センターは、今後とも県内のきのこ栽培者の早期復興に向けて全力を尽くしますのでよろしくお願います。

団体のページ

林研コーナー

《はつらつ》林業  
女性交流会に参加して

ふたばグリーンレディースネットワーク2000  
代表 早矢仕 恵子



私がこの交流会に参加するのは、もう何回目の事でしょうか。二〇〇〇年にグループを立ち上げ、十四年になります。最初は、何もわからず必死で活動をし、そして勉強するために、全国女性の会に参加し、色々な活動の話を聞き、自分なりに進んでまいりました。福島県は震災及び原発事故を経験し間もなく三年になるうとしていきます。何が変わったのだろうか。毎日テレビでは放射能の数字が読み上げられ、それが当たり前のようになってきました。

そんな中でも、全林研の実績は素晴らしく、全林研女性会前代表の栗原慶子さんが林業における女性の地位向上と男女共同参画の推進を牽引した評価として最高位の天皇杯を受賞なされました。私たちにとっても誉高い事だと心より敬意を表したいと思います。そして、格式高く信念を持つて活動している全国の女性活動家の励みにもなったことでしょう。折しも時はソチオリンピック。若手の活躍は素晴らしくどれだけの感動と、勇気をもたらした事でしょうか。金メダルを胸に被災地に少しでも勇気を与えられれば、と言っていたアスリートの声を聞いた時、またまた、日本は大丈夫…。

日本は震災及び原発事故からどんな復興をするのか、世界は注目しています。そして、福島県の私たちがどのような復興を見せるのか…。気がつくといつも自分は下を向いていたようにも思います。地道に努力することの大切さ、苦しい時ほど基本に戻る事、原点を思い出す事、そして、私たち中堅層がしなければならぬ事、このことを見出して私の今後の活動につなげたいと存じます。私も含めて少しずつ、変わらなければなりません。縦と横の繋がりがうまくいくような組織づくりも考えなければなりません。そして、いつも林業界においては、後継者不足の問題が深刻で、これは多分永遠の課題なのでしょうが、もしかしらどこかにヒントがあるかもしれません。それを探すのも一つです。全林研では、結構若い人たちの参加が多くみられるようになったように感じられます。色々な角度からの活動が受け入れられるように願うばかりです。

**(公社)福島県森林・林業・緑化協会**  
**きのこ振興センター**

きのこで地域を元気に

- 菌床栽培用ナメコ(登録品種)
  - 福島N1号 安定多収量
  - 福島N2号 大型・滑り少
  - 福島N3号
  - 福島N4号
- 原木栽培用ナメコ(登録品種)
  - コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富

○その他各種種菌  
○菌床 ・シイタケ  
・ハタケシメジ  
・ムラサキシメジ等  
○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

林協ニュース

# 平成25年度福島県 森林土木建設業協会 講演会・研修会 開催される



菅家会長あいさつ

福島県森林土木建設業協会主催による講演会・研修会が、さる二月二日に福島市杉妻会館において会員等九〇名の参加のもと開催されました。

今回は、森林の役割や森林土木事



太田猛彦氏による講演会

業に関する基本的な知識を習得する目的に企画されたもので、講演会の講師には森林及び砂防工学が専門の東京大学名誉教授太田猛彦氏、また、研修会は県農林水産部農林技術課長野内芳彦氏を招いて実施されました。



太田先生による講演では、「暮らしを守る森林の再生に向けて」を演題に、平成二三年三月十一日に発生した東日本大震災での津波による海岸防災林の被害の実態、津波を減衰した松林の役割、さらには飛砂等に悩まされた海岸への植林が始まった江戸時代以降の海岸防災林の長い歴史、森林や海岸線の変遷について解説されました。また、里山は豊かな森林に恵まれてきたと思いがちですが、実は江戸時代以降過度のバイオマス利用によりその殆どがはげ山であったものを、戦後の植林によりはげ山が一扫されたことや、現代における森林の荒廃の問題等々についてお話がありました。

休憩を挟んで開催された研修会では、野内農林技術課長から、「森林土木事業における入札不調対策」と題して、入札不調の状況、その対策の一つとして、設計積算の面から、「現場条件を適切に反映した設計積算」の取組み、具体的には、平成二五年九月四日に開催された県と森林土木建設業協会との情報交換の中で話題に上がった、森林土木工事における「工種等の選定」、「機種

の選定」、「仮設工の設計」等五項目について課題事例と主な対応案が示されました。



野田農林技術課長による研修会

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(12月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	8 (6~10)	0	8 (6~10)	0
		10~13		並	スギ	13 (12~15)	1	9 (9~9)	0	10 (7~12)	1	11 (7~15)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	15 (14~16)	1	11 (11~11)	0	11 (8~15)	0	13 (8~16)	0
				並	ヒノキ	22 (18~25)	1	40 (0~0)	*	16 (12~20)	1	20 (12~25)	2
		6.00	並	スギ	19 (17~21)	1	14 (8~20)	0	16 (14~18)	1	17 (8~21)	1	
			並	ヒノキ	30 (27~32)	1	(0~0)	0	24 (17~30)	2	27 (17~32)	2	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (14~16)	0	12 (12~13)	1	12 (10~15)	0	14 (10~16)	1	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	(0~0)	0	9 (9~10)	△2	11 (9~13)	0	
		1.80	並		7 (5~9)	0	(0~0)	0	6 (4~8)	△2	7 (4~9)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	26 (26~26)	0	(28~28)	0	28 (25~31)	△1	28 (25~31)	0
並				米マツ	29 (28~30)	0	29 (29~29)	0	30 (28~32)	0	29 (28~32)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (26~28)	0	27 (26~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	4 (4~4)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	△2	4 (3~4)	0	
			並	広葉樹	4 (4~4)	0	(0~0)	0	6 (6~6)	△1	5 (4~6)	0	

十一月の原木市場への入荷状況は、前月比二割増(前年比三割増)の二八、九八八立方メートルとなっている。  
 販売量については、前月比六割増(前年比二割増)の二九、五一三立方メートルとなっている。  
 一ヶ月の取扱量は、入荷量は前年比四割増、販売量は前年比五割増となっている。  
 十二月の価格については、品薄高が生じている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~7)		8 (6~9)	
	13~14		並	カラマツ	8 (7~8)		8 (7~8)	
	16以上		並	カラマツ	9 (8~10)		9 (8~10)	

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。



面影を残す橋脚跡



橋梁跡の枕木の状況

昨年春のこと、森林所有者から立木の調査依頼があり、小川町上小川内倉地内の現地に向いた時のことである。平坦な山土場らしき場所から沢へと続く山道を下って行った時のこと、広葉樹林の中にコンクリート構造物らしき物体が視界に飛び込んできた。よく見ると所謂橋脚ではないか。辺りを見廻すと道路らしきものは見当たらず、何故こんな山の中に橋脚が存在するのか。コンクリートはしっかりとおり驚きついでに依頼人へ聞いてみると、「昔、ここには軌道が敷かれていて、車を止めてきた広い場所が貯木場跡」との回答。橋脚の前後を見ると灌木などで覆われているものの橋台や軌道敷き跡の確認はできる。さて、どこまで続いているのか。しかし、本日は目的が違いため調査は一旦中止し、後日、独自の調査活動へ入ること



### 『林鉄跡』

### 発見!

いわき農林事務所  
 林業課 原田 政尚

とにした。前回発見した橋脚跡から軌道敷跡を進んで行くと、木橋の残骸やレール以外の枕木が朽ちてはいるものの原形をとどめていた。現地は背戸峨廊遊歩道の対岸斜面に位置し、眼下には神楽山(八〇八・二)を源とする江田川が流れている。調べてみると、「神楽山森林鉄道」は一九四六年に工事が開始され一九六二年には廃止されたと記載されており短命であったことが伺えるが、貯木場跡を起点とし神楽山の麓までの全長九・三キロメートルに及ぶ区間をガソリン機関車が木材を搬出していたそうです。なお、県内には数多く林業用・鉱業用軌道が敷かれていたとのこと。ちなみに森林鉄道の定義があるそうで「機関車」が導入された実績があるものが「森林鉄道」、実績がない「馬力、牛力、犬力、人力」によるものが「林用軌道」と区別しているそうです。

表紙の写真



「子供の成長に笑顔」

第10回ふくしま森林・林業写真コンクールで特別賞を受賞した長谷川錦治さん（いわき市）の作品。



瓦 礫

その瓦礫の塀は、新肇（あたしはな郡山市 創苑）という庭屋によってあの東日本大震災直後、郡山市麓山（滝田三良法律事務所）の地にたちあがった。江戸時代からの土蔵の瓦が崩れ、その瓦を塀に積み上げたという。瓦礫と化した瓦は、その技とゆるぎない思いで再び新しい役目を授けられた。しかし、積み上げられたのは瓦だけではない。「何度も何度も困難から這い上がってきた江戸からの日本人魂までも積みあげた」と言う。

また、郡山市開成にある道因寺の大谷石の塀も三・一一で全て崩れ落ちた。ご住職の「沈みがちな郡山市民の拠りどころとなる何かがここに欲しい」という思いと、この地に新しい福島風景をと願う二人の気持ちが重なり、常に人に寄り添い、守ってくれる思いやりの土塀が、昨年つくられた。そしてこの土塀には、道因寺が全国から引き取りを頼まれた十五種類の石も使われた。通常同種の石で統一するのが基本だが、「ここ福島ではこれがいいのだ。やがてこれが福島の景色になる」勇気のある言葉と信念だ。その後ご住職は、土塀の前に「東日本大震災復興記念土塀」の石碑を建て、その裏には「創苑」と刻んだ。創苑は、その名をこの地に永く残すことになった。深い悲しみやどうしようもないくやしさを、そしてたくさんの優しさを、全てがこれらの風景には正直に込められている。これからこの風景は、歳月とともに福島の風土に育てられ、熟成していくことだろう。

東日本大震災から三年が経過した。この三年という時間にそれぞれが、どれほど鍛えられてきただろう…。そんな思いでふと見渡す日常の風景、ご住職の「いつもの自分の早さで、何事も淡々と」というその言葉がよみがえる。それぞれが鍛えられてきたからこそ、なおいっそう響いてくる。（都）

編集

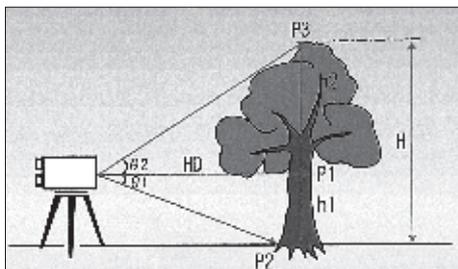
発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業同組合  
福島県農林業公社  
森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
（福島市中町五番一八号県林業会館内）  
相馬 雅俊  
陽光社印刷株式会社

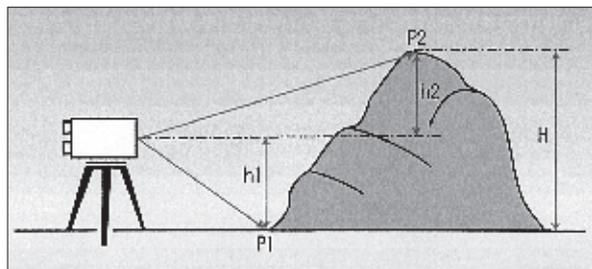
（定価 一〇五円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

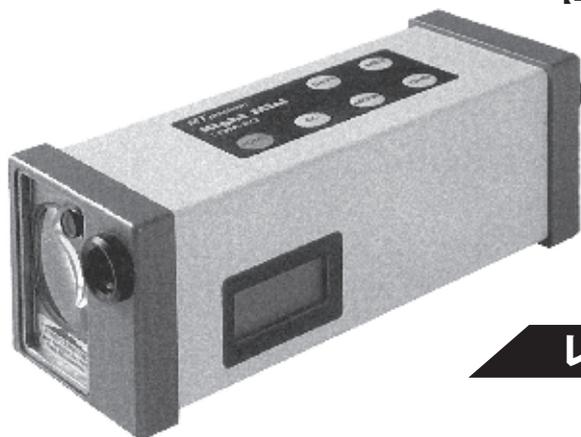


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



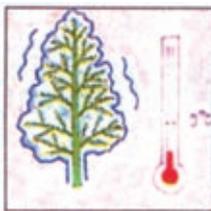
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課  
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

**蜂さされ防止**

ハチノックL (巣退治)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

チッパーシュレッダ

プロソー



**竹もOK!**  
**SR3000-2**  
出力 22.3kW (質量1,330kg)  
水冷ディーゼル  
X379301020  
¥3,543,750(税込)



**GZ3900EZ**  
排気量 39.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)  
95VPX 967159303  
HS 25AP 967159104  
91VXL 967159204  
HM 21BPX 967159404  
95VPX 967159305



**GZ4300EZ**  
排気量 43.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
45cm(18")  
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)  
95VPX 967159902  
HM 21BPX 967160504  
95VPX 967159904

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1